

資金分配団体 【PO2年目研修】 ビデオ学習用課題

資金分配団体名 :

名前 :

Eメール :

確認者(JANPIA担当) :

【E後半】多様な革新を支える助成と基盤づくり (必須)

講師：深尾昌峰（龍谷大学政策学部教授）

受講済み

1. 本講義を通して、国内外の現状や将来にの課題について考えたときに、印象的であったことを上位3つ挙げて下さい。

2. 1で挙げたことどれか1つ解決に取り組むとしたら、休眠預金の資金分配団体POとして、どんなことを考慮して助成事業を計画・デザインしたいと思いますか。

3. 本講義を聴いた上で、皆さんの助成がどのように「てこ（梃子）」として作用しそうかについて教えて下さい。

【E後半】組織評価 (必須)

講師：山田泰久（一般財団法人非営利組織評価センター）

受講済み

1. 休眠預金活用において、組織評価はどのように活用できると思いますか。

2. 非営利組織のための第三者組織評価ガイド～ベーシック評価～ <https://jcne.or.jp/data/guide.pdf> を参照して、自身の組織のセルフアセスメントをしてみましょう。その上で、みなさんが実行団体の組織の評価をする際に考慮すべきポイントや気づきを共有しましょう。

【E後半】ファンドレイジングと社会的インパクト投資 **(必須)**

講師：鴨崎貴泰（認定特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会常務理事）

受講済み

1. 本講義を通して学んだファンドレイジングの考え方について重要なことを思い起こし、以下の文章を皆さんなりに完成させてください。

ファンドレイジングとは

である。

2. 資金分配団体のPOとして、休眠預金を呼び水として使うために、どのようなリソースマッチングの方法について考えていくことができると思いますか。

3. 実行団体のファンドレイジング機能・基盤強化をしていく中で、資金分配団体のPOとして大切にしたいと考えるポイントはどのようなものですか。

【E後半】POと倫理 (必須)

講師：茶野順子（公益財団法人笹川平和財団 常務理事）

受講済み

1. 講義やディスカッションを通じて、資金分配団体のPOとして大事にしたい倫理感や価値、スタンスなどについて感じたことを教えて下さい。

2. 「プログラムオフィサーとしてどこまで（実行団体に）コミットするのか？」という問い合わせに対し、講義やディスカッションをもとに皆さんなりの考えをまとめてみましょう。

【参考】 講義のレポートについて

- 以降のスライドは【参考】講義の課題レポートとなっております。
- これらのレポートの提出は必要ありませんが、受講する際はぜひ記載されている設問・ポイントを参考にしてご覧ください。

【E後半】助成事業における課題解決のためのエビデンスの産出と活用 (参考)

講師：西郷民紗（株式会社HITOTOWA）

受講済み

1. 助成の設計とエビデンスの活用の関係性（活かし方や懸念点）について、学んだことについて教えて下さい。

2. エビデンスを利用する2つの最大の目的はどんな内容でしたか。

3. 資金分配団体のPOとして、助成プログラムにおけるエビデンス活用の落とし穴に落ちないためにするためには、どのようなことに気をつけるべきだと思いますか。

4. 皆さんの助成分野において、どんな仮説を検証してみたいと思いますか。

1. 休眠預金活用において、資金分配団体のPOとして組織診断はどのように活用できると思いますか。

2. 講義で紹介された組織診断のアプローチとして、皆さんがあなたが実際活用したいと思う例があれば教えて下さい。

3. 講義で解説された重要な分析の視点にはどのようなものがありましたか。

【E後半】助成事業の組み立て方 (参考)

講師：渡辺元（公益財団法人助成財団センター理事）

受講済み

1. 講義で説明された日本における非営利活動に対する資金の現状を踏まえ、休眠預金のスキームはどのような資金の特性をもち、どのような点で従来の助成と異なっていると感じましたか。

2. 本講義からの学びで、助成事業を策定するときに、まず最初に何をすべきで、どのようなことに考慮すべきだと学びましたか。

3. 効果的な助成プログラムの創出に向けた留意点として、皆さんの実践で大切にしたい、または具体的に実践したいと思うポイントを3つ挙げて下さい。

①

②

③